



飯能市平和都市宣言記念

ヒロシマ・ナガサキ



東京2020応援プログラム

The Hiroshima-Nagasaki
Atomic Bomb Exhibition

原爆資料展

令和3(2021)年

期間 7月18日(日) ▶ 9月5日(日)

休館日 月曜日 (8月9日を除く)

会場 飯能市立博物館きつとす 特別展示室

主催 飯能市 広島市 長崎市



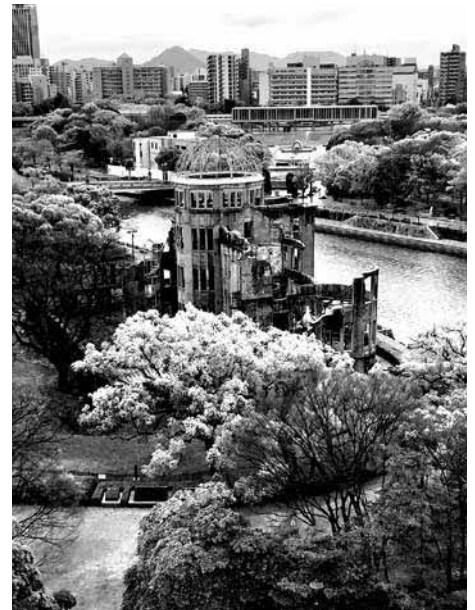
ヒロシマ・ナガサキ 原爆資料展

飯能市は、平成31(2019)年3月に平和都市宣言を制定しました。この度、本宣言の制定を記念するとともに、平和を訴求するオリンピック・パラリンピックの東京2020大会を応援する「東京2020 応援プログラム」として、広島市・長崎市と共同で原爆に関する資料展を開催します。

広島平和記念資料館・長崎原爆資料館が収蔵している被爆実物資料やそのレプリカ、被爆者が描いた絵(複製画)、そして被爆者と高校生が共同で制作した原爆の絵(原画)など、貴重な資料を展示します。国内において広島・長崎の実物資料が一堂に会して展示されることは少なく、とても貴重な機会です。また、関連事業として、被爆者による被爆体験証言会も実施します。

76年前の「あの日」に起こったことを学び、改めて平和について考えてみませんか。

※本展の解説文・キャプションは日英併記です。
Exhibition texts in Japanese and English.



● 関連事業 被爆体験証言会

日時 ①8月7日(土)午後2時～3時
②8月8日(日)午前11時～正午

会場 飯能市市民会館会議室202

定員 各日30名(要申込)

※申込方法等の詳細は飯能市立博物館のホームページをご覧ください。
※今後の新型コロナウイルス感染症の状況により変更される場合があります。

表面写真 ① 広島上空に立ち昇ったきのこ雲(米軍撮影) ② セーラー服(瀬川真澄氏寄贈) ③ 形見のビー玉(レプリカ・松田雪美氏寄贈) ④ 市民が描いた原爆の絵(松尾千鶴子氏作)
⑤ 柱時計(レプリカ・久保忠八氏寄贈) ⑥ 布製の靴(レプリカ・佐々木綾子氏寄贈) ⑦ 高校生が描いた原爆の絵(市川穂氏作) ⑧ 変形したガラス瓶(ジョン エジントン氏寄贈)
⑨ 爆心地から東側に120m離れた高台(現在の長崎原爆資料館付近)から撮影(林重男氏撮影) 所蔵・提供: ④⑤⑨は長崎原爆資料館、他は広島平和記念資料館



飯能市立博物館

Hanno Municipal Museum 愛称:きつとす

●開館時間 午前9時～午後5時 ●入場無料
〒357-0063 埼玉県飯能市大字飯能258-1
TEL(042)972-1414 FAX(042)972-1431
HP <https://www.city.hanno.lg.jp/hall/museum>

アクセス

飯能駅北口または東飯能駅西口より名栗方面バス「市民会館・博物館」バス停下車徒歩3分、
または西武飯能日高方面バス「OH!!!!・天覧山下」バス停下車徒歩5分
※駐車場には限りがあります。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご来館の際は「マスクの着用」「手指消毒」「ソーシャルディスタンスの確保」等へのご協力をお願いします。また、臨時休館等を行う場合がありますのでお出かけの際はホームページをご確認ください。



ホームページ



Twitter



Facebook